

研修テーマ：No.120

「新たな国民病「慢性腎臓病(CKD)の重症化を予防する！」

開催日時 令和3年11月30日 10:00~16:30 / 会場 兵庫県看護協会3階 研修室2

■ 講師紹介

林 美代子 先生 加古川中央市民病院 (慢性疾患看護専門看護師)

■ 受講者数

会場受講 9名・ライブ配信受講 25名

■ プログラム

- ・CKD とは
- ・CKD をきたす疾患
- ・CKD の療養支援
- ・慢性疾患とともに生きる人を支える
- ・腎代替療法選択支援

■ 受講者の声

- 📎 講義資料がわかりやすく、内容も実践に即したもので、とても勉強になりました。
- 📎 わかりやすく、患者さんへの思いにあふれた研修でした。
- 📎 慢性疾患患者の「生活の編みなおし」に関わり、少しでもその人らしく生きられるように支援出来たら…と思う。
- 📎 現在関わっている患者とのかかわりを振り返り、今後どのように関わればよいのか考えられた。
- 📎 行政で、糖尿病性腎症の重症化予防に携わっており、中断者のアプローチに苦戦していました。病識がないと決めつけており、生活者の視点を持つことに欠けていたと気づきました。見方を変えて根気強く丁寧に関わっていきたいと思いました。病みの軌跡理論が役立ちそうです。
- 📎 苦手意識の強かった分野だったのですが、とても分かりやすく理解が深まりました。

■ 担当者からコメント

「腎疾患」をテーマに取り上げた研修は、恐らく初めてではないかと思えます。この研修と「おさえておきたい透析看護のポイント」をシリーズで開催しました。

「受講者の声」にもあるように、慢性疾患を病む患者さんへの思いにあふれた素敵な講義でした。